

東 近 江 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開 催 日 時		令和4年11月24日（木）午後3時30分～午後5時15分
開 催 場 所		東近江警察署 別館3階会議室
出 席 者	委 員	榎本恵理会長、服部学副会長、奥村育子委員、川添頼昭委員 黒川あい委員、居原田妙子委員、坪倉美代子委員 上嶋正之委員、成宮吉明委員
	警 察	署長、副署長、会計課長、調査官兼警務課長、生活安全課長 地域課長、愛知川警部交番所長、日野警部交番所長 刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長、警務係長
議 事 概 要		
<p>1 会長挨拶</p> <p>会長から、11月17日に警察本部において開催された警察署協議会代表者会議の開催結果の伝達がなされるとともに「協議会においても様々なアイデアを出し、効果的な提言をしていきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から「管内において河川の増水による水難事故が連続発生しており、災害の危険性も高まっていることから、平素からの災害救助訓練、支援協定の締結など有事への備えに万全を期すよう努力している。県内では犯罪が増加しており、警察本部において犯罪抑止対策緊急強化戦略が策定され、当署においても様々な抑止対策を実施している。委員の皆様には住民目線での忌憚のない意見等をいただき、意見等を警察署の業務運営に生かしていきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 提言に対する反映結果の報告及び管内の犯罪情勢と取組について</p> <p>ア 提言に対する反映結果の報告</p> <p>警察から、前回の協議会において提言された『犯人の生の声を使用した特殊詐欺動画の積極的な活用』に対する反映結果として、町役場や図書館において、デジタルサイネージを活用した動画の放映を実施していることについて報告があった。</p> <p>イ 管内の犯罪情勢と取組について</p> <p>警察から、管内の犯罪情勢及び犯罪抑止活動について説明があった。そ</p>		

の際、委員から「防犯カメラの性能は進んでいるのに、特殊詐欺の検挙率が低調なのはなぜか。」「アポ電は犯人グループが家に行けるかどうかを確認しているのか。」旨の質問がなされ、警察から「犯人側も他人名義の口座・携帯電話を使用するなど巧妙化しており、検挙できているのは受け子や出し子の組織の末端が多い。今後も突き上げ捜査を実施し、組織の壊滅を図っていく。」「アポ電は犯人グループがあらかじめ入手したリストに基づいて手当たり次第に電話をかけており、家に行くだけでなく、犯行が成功するかも確認している。」旨の説明がなされた。

(2) 災害の発生状況について

ドローンと県警ヘリを活用した災害救助訓練の映像を視聴した後、警察から、災害発生状況、県内の被害状況、災害発生時に向けた取組状況等について説明があった。その際、委員から「ヘリによる救助活動において、要救助者が家族連れの場合、救助に係る時間は要救助者の数だけ要するのか。」

「ドローン講習に必要な経費を公費で負担することはできないのか。」旨の質問がなされ、警察から「他府県警察に対して応援要請を行い、速やかに救助活動が行えるよう調整している。」「ドローン講習に必要な経費は、受講負担金として予算化し、公費で対応している。」旨の説明がなされた。